

タイトル：2023年度 教育セミナー（第19回）

日時：2023年9月21日（木）～24日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3階大会議室（303）

吉田天（甲南大学大学院人文科学研究科応用社会学専攻2年）

この度、中東・イスラームに関するセミナーに参加する機会を得ることができ、本当に光栄に思っております。専門の研究者の先生方および私と同じ修士課程・博士課程前期の方々との対話を通じて、新たな洞察と知識を得ることができ、たいへん刺激になりました。

中東・イスラーム教育セミナーでは、イスラームに関する多彩な事柄が取り上げられ、その中で私は特に東南アジアのイスラームについての議論に興味深く参加させていただきました。学外のイスラーム研究の専門家、そして大学院生のみなさんから直接学び、彼らの専門知識と見解を聞くことは、学術的な視点を広げる上で非常に有益でした。

セミナーでの議論は私にとって刺激的で、特に前述の「東南アジアのイスラームは“保守化”したか？」という発表からは多くを学びました。東南アジア、特にマレーシアにおけるイスラームについては私にとってはまったく専門外でした。しかし、教育セミナーにおいてマレーシアにおけるイスラームの現状とその保守化が進んでいるという一般的言説に対する反論を拝聴し、自分の視野を広げることができました。このような見解や研究成果に触れることができたことは、私のイスラーム研究に対する熱意を一層高めました。また、他の参加者との議論からも新たな視点を得ることができ、自分の研究に活かすべくアイデアがたくさん湧きました。

口頭およびポスターでの発表だけでなく、自主的に議論や考察を深めることができたことも、今回の中東・イスラーム教育セミナーにおける大きな成果となりました。私はエジプト社会におけるジェンダー規範について関心がありますが、他の参加者の方および先生方から多くのアドバイスや興味・関心、そして応援の声を寄せていただけたことにはたいへん刺激を受けました。この場を借りてお礼申し上げます。また、自分にはなかった興味・関心が喚起されるということも、よい経験となりました。自分の世界が広がったように思います。今後もさらに広く深く研究を続けていきたいと思っております。

この中東・イスラーム教育セミナーから得た知識と感銘は、将来の研究において大いに役立つことでしょう。イスラーム研究への情熱が一層深まり、今後の研究に活かす機会が増えることを楽しみにしています。

中東・イスラーム教育セミナーへの参加は、私の専門知識の向上と自己成長に貢献する素晴らしい機会であり、感謝の意を表したいと思います。

以上が、セミナーに対する私の感想です。-ありがとうございました。